

平成30年度(2018年度)

管理事業名	保健所準備事業			総合計画の 体系	第3章 第6節	健康で安心して暮らせるまちづくり 健康な暮らしを支えるまちづくり
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 4	衛生費	(項) 1	保健衛生費	(目) 1 保健衛生総務費
部局名	健康医療部	予算執行所属	保健所設置準備室			
予算大事業名 保健所設置検討事業	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名					
事業の目的と概要 中核市移行に伴う保健所の設置について、具体的な検討や準備を進めるとともに、大阪府への職員派遣研修を実施します。 令和元年度に大阪府への派遣研修を予定している新たな専門職を確保するため、広報活動を実施します。						

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	成果指標の定義
平成30年度中に確保した新規専門職の人数	人	-	-	7	平成30年度中に実施した採用候補者試験により、採用した新規専門職の人数
成果の説明	円滑な保健所業務の移管に向け、平成30年度から大阪府への派遣研修を開始する中で、令和元年度からは新たな専門職(獣医師、薬剤師、精神保健福祉士、管理栄養士)を含め派遣職員の増員を予定しており、必要な人材の確保に向け関係大学等への広報活動を実施しました。平成30年度の新規専門職の採用候補者試験では、募集人数を大きく上回る応募がありましたが、最終的には9人の募集に対し、7人の採用となりました。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成28年度	平成29年度 A	平成30年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常収入 小計(a)	-	-	-	-
給与関係費	-	-	72,219	72,219
物件費	-	-	381	381
維持補修費	-	-	-	-
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	-	-	-	-
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	-	-	-	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	-	-	6,531	6,531
退職手当引当金繰入額	-	-	73,446	73,446
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	-	-	152,576	152,576
経常収支差額(a)-(b)=(c)	-	-	△152,576	△152,576
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	-	-	△152,576	△152,576
一般財源充当額	-	-	79,574	79,574
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	-	-	△73,002	△73,002

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表

(単位:千円)

区分	平成28年度	平成29年度 A	平成30年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	-	-	-	-
行政サービス活動支出	-	-	79,574	79,574
行政サービス活動収支差額	-	-	△79,574	△79,574
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	-	-	△79,574	△79,574
一般財源充当額	-	-	79,574	79,574
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の 主な内容	

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
市民1人あたりのコスト	平成28年度	369,522 人	- 円	市民1人あたり411円のコストがかかっています。 平成31年3月31日現在の吹田市人口で算出しています。
	平成29年度	370,072 人	- 円	
	平成30年度	371,030 人	411 円	
	平成28年度		円	
	平成29年度		円	
	平成30年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成29年度末 A	平成30年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成29年度末 A	平成30年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	-	6,531	6,531
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	-	6,531	6,531
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	固定負債	-	66,472	66,472
土地	-	-	-	地方債	-	-	-
建物・工作物	-	-	-	長期借入金	-	-	-
リース資産	-	-	-	退職手当引当金	-	66,472	66,472
建設仮勘定	-	-	-	リース債務	-	-	-
無形固定資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
固定資産	-	-	-	負債の部合計	-	73,002	73,002
有形固定資産	-	-	-	純資産	-	△73,002	△73,002
土地	-	-	-				
建物・工作物	-	-	-				
建設仮勘定	-	-	-	純資産の部合計	-	△73,002	△73,002
重要物品	-	-	-				
図書館資料	-	-	-	負債及び純資産の部合計	-	-	-
投資その他の資産	-	-	-				
出資金	-	-	-				
長期貸付金	-	-	-				
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
資産の部合計	-	-	-				

Ⅲ 財務構造分析

▽人にかかるコストの内訳

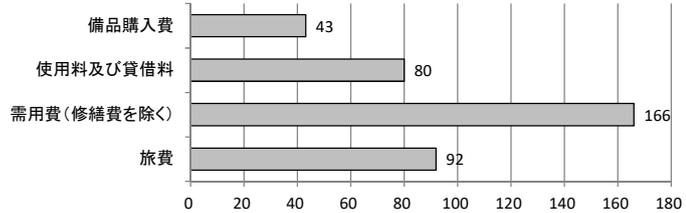
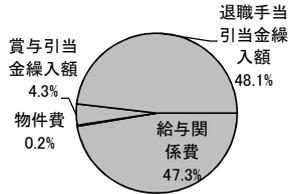
	常勤・再任用 月平均	非常勤 月平均	臨時雇用員 年間従事延日数	審議会委員等 実人数	
事業従事人数	10人	人	日	人	
給与関係費等	152,195千円	千円	千円	千円	合計(千円) 152,195
内、時間外勤務手当	260千円				

貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由

▽経常費用の構成割合

物件費の内訳(単位:千円)



▽分析指標

(単位:%)

分析指標	年度	平成28年度	平成29年度 A	平成30年度 B	差 B-A
受益者負担比率		-	-	-	-
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		-	-	100.0	100.0

▽その他特記事項

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

・事業に係るコスト全体の99.8%が人件費、0.2%が物件費です。物件費のうち、43.6%が需用費、24.1%が旅費、21%が使用料及び賃借料です。
 ・事業の財源は、全て一般財源です。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

令和2年4月の中核市移行に伴う吹田市保健所の設置に向けて、平成30年度は大阪府への職員派遣研修を実施し、具体的な検討を行い、保健所設置に係る消耗品の購入や、大阪府との協議・先行中核市への視察・新たな専門職の確保のためのリクルート活動等を行いました。令和元年度は、大阪府への職員派遣研修を継続して実施するとともに、施設の改修、初度調弁物品の購入及びシステムの導入など、円滑に保健所業務を引き継ぐために必要な準備を進める必要があります。